

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取り組み

愛知文教大学では、全学的な取り組みと学科独自の取り組みを、1 年次からカリキュラム 内外において、教員養成に係る資質の向上をめざして取り組んでいる。

1 学校支援チューター制度・・・教育委員会との連携事業

小牧市教育委員会と愛知文教大学は、平成 21 年度、学校支援チューター制度の提携を結んだ。教職希望の大学 1 年次は、6 月と 12 月に小牧市立味岡小学校において 3 日間の学習チューターを行う。特別支援学級、1 年から 6 年までの学級において、算数を中心として様々な学習の支援をする、教室と一緒に給食を食べる、休憩時間に遊ぶといった活動を行う。また、1 年生の秋期から 4 年生まで、週に 1 回程度、小牧市立桃陵中学校と小牧市立陶小学校において、学習チューターを行う。ただ、授業との調整がつかない場合があるため、参加の可能な学年や期間に行う。

2 教育実習の改善・充実・・・事前指導・実習校との連携・事後指導

教育実習に参加する学生に対しては、指導案の書き方、模擬授業等の指導を行う。国語科や英語科の指導案に対しては、教科の担当教員が担当する。また中学校の道徳の指導案に対しては、教職の教員が担当をする。また、教育実習期間中に、担当の教員が実習校を訪問し、実習期間中における学生の様子を聞き、指導を行う。教育実習後、授業や生活における様々な指導について振り返り、改善点を考えさせる。

3 教職ポートフォリオ・・・4 年間を見通した指導

教師になる夢をもった学生が、資質や能力を身に付けた教師になれるように、大学 1 年次に、どのような授業を履

修し、どのように学び進めることが必要かについての「教職テキスト」を渡す。1 年次の教職概論、教育原論の授業を通して指導を行う。1 年次「教職概論」「教育原論」から4 年次「教職実践演習」までの教職の学習での記録や授業の振り返りシート等を、教職ポートフォリオに綴る。

この「教職テキスト」と「教職ポートフォリオ」は、教職課程研究センターに保管して、必要に応じて学生が閲覧することができるようにする。学生が、教職の学びを振り返る資料とするとともに、これからの教職学習の指針として利用することができるようにする。4 年次の「教職実践演習」の学習において、「教職ポートフォリオ」を利用して、自身の教職の学習の歩みを振り返りながら、これまでの学習において不足している学習は何であったかを振り返る資料として用いる。そして、生涯学び続けることができる教員を育てる資料とする。

4 教職課程研究センター……きめ細かな指導

本学では、教師を目指す学生を総合的に指導支援するために教職課程研究センターを設置している。そこでは、教職全般に関する指導や個別相談を行い、教員採用試験対策や教職への就職支援を進めている。教職課程研究センターには、教育に関する書籍や、教員採用試験対策の書籍が置かれており、教職学生が学習室として利用できるようになっている。

教員採用試験対策講座は、希望者を対象として、教職学生の空き時間、夏季休業中、春季休業中において実施している。内容は、教科教養指導、教職教養指導、面接指導、グループディスカッション指導、指導案作成指導、模擬授業指導等、教師としての能力育成を担っている。